

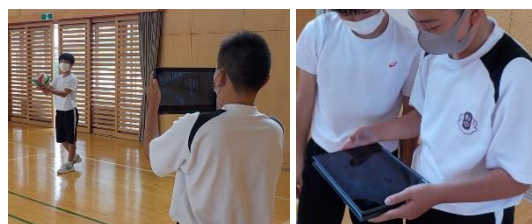
「9月になりました」(令和3年9月3日(金))

宮城県・柴田町立船岡中学校 校長

9月になり、秋めいた空が多くなってきたような気がします。国の緊急事態宣言が宮城県にも発令されて1週間。放課後の活動や部活動が中止になりましたが、帰宅後も感染予防をしながら、計画的な生活を送ってほしいと願っています。

3 学年・保護者説明会 (8/30(月))

新型コロナウイルス感染症の感染状況や緊急事態宣言の発令などを受け、修学旅行の延期等に係る3学年保護者説明会を行いました。いただきました、ご質問、ご意見を今後進めていくときに生かしてまいります。平日午後7時開催のところにもかかわらず、ご参加いただき誠にありがとうございました。



体育・バレーボールの授業風景。タブレット端末を活用し、実技練習の場面を生徒同士で録画していました。その動画を互いに見て、技能の習得や向上に役立てていました。



3学年保護者説明会。ご参加いただきありがとうございました。8/30(月)体育館にて開催

進路や職業について考える特集(図書室)

1年生はキャリアセミナー(2月)、2学年は職場体験学習(9月)、3年生は将来の職業を視野に入れた進路選択を控えています。その参考になる本が、今、本校の図書室入口付近にあります。「○○○になるには」というシリーズの本や、給料や資格、仕事選びなどについての本が数多く並べられています。ちょっとでも興味を引くところがあったら、ぜひ本を手にとってみてください。「意志のあるところには道がある」です。

Where there's a will, there's a way.

◆◆◆◆【読書案内】◆◆◆◆

今回は、仕事にまつわる本を3冊紹介します。

○ 大野正人:作、中川学:絵、出口保行:監修 「夢はどうしてかなわないの？」(2015年、65ページ)

タイトルだけを読むと、なんてことを書いてくれるんだと思ってしまいましたが、夢をかなえるための「心の持ち方」を、簡潔にズバリと教えてくれる絵本です。絵本ですが、内容は中高生にピッタリ。ヒントがたくさん書かれていて、しかも短いです。本校図書室の特集コーナーから借りました。どうぞご一読を。



図書室入口付近での特集コーナー「進路や職業の本」。大学・学部についての本も並べられています。

○ 野地秩嘉「スバル ヒコーキ野郎が作ったクルマ」(2019年、257ページ)

町図書館からお借りしました。「SUBARU(スバル)」の前身は「中島飛行機」という当時東洋一の民間の航空機メーカーで、戦闘機「隼(はやぶさ)」などを生産していました。また、この会社は飛行機の搭乗者の安全をととても大事に考えていました。この思想が、クルマを製造するときにも受け継がれ、それが現在に至っていると著者は述べています。ある会社の製品にかける人々の熱い思いが伝わってくる本です。

○ 有川浩「空飛ぶ広報室」(2012年、462ページ) 本校図書室から借りました。この本は航空自衛隊の広報を題材にしたもので、広報の裏方の人間ドラマがとても魅力的な小説です。最終章に、震災直後の松島基地の話が出てきます。以前、松島基地のある矢本町に住んでいて航空祭を見に行ったりしていたので、そこを読んだときは泣けてきました。広報の仕事で働いている方々の心意気を感じた本です。



幕末から明治にかけての歴史を学び、その内容を生徒一人一人がまとめた学習プリント。まとめ方に個性があり、レイアウトや吹き出し、マーカー、イラストなど、それぞれに工夫のあとが見えます。



プーさんも呼びかけています。「手、洗っていますか」と。